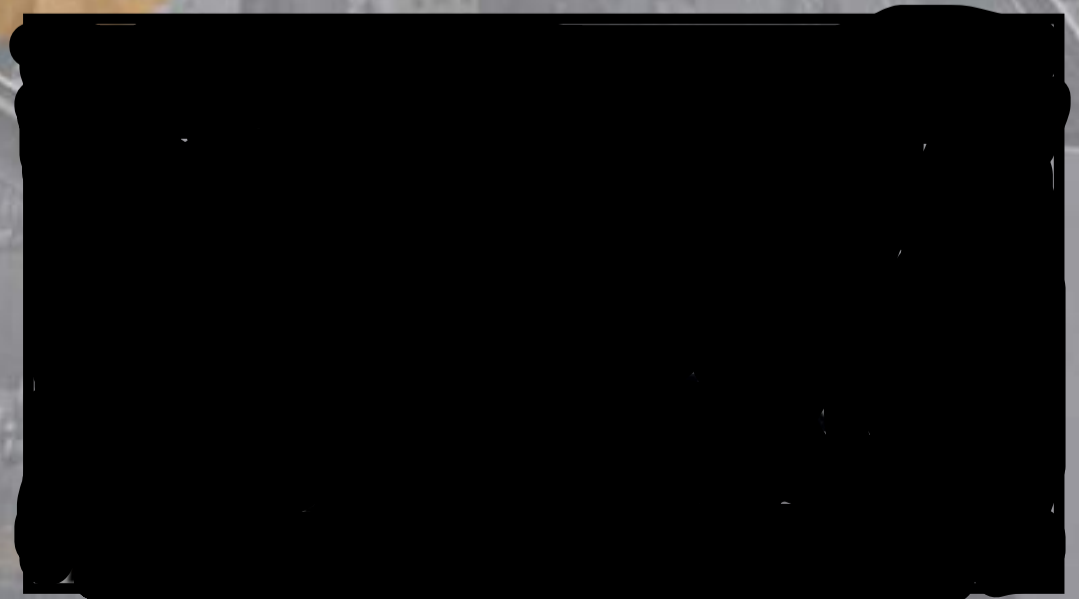


Sirius



LGBT



What is Our Goal? —目標—

アライ(LGBTの支援者)について知ってもらい、LGBTに関しての理解を広めるとともに、1人ひとりがLGBTと関わっているということを伝える

Why are we doing? —動機—

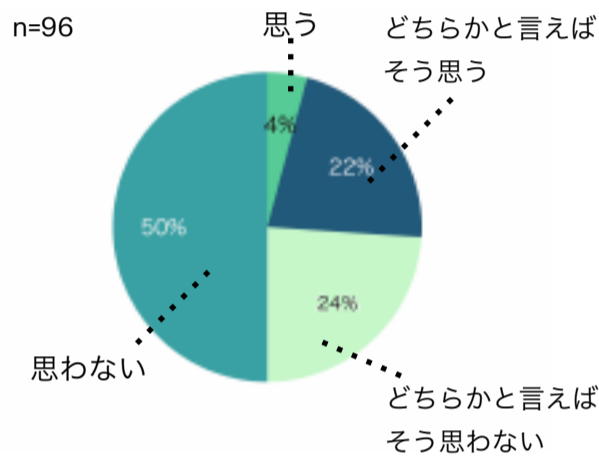
今年度より、私たちの高校では性的マイノリティ配慮のため、スラックス(女子用の制服のズボン)が導入された。それをきっかけにLGBTについて身近に感じるようになり、強い関心を持つようになった。しかし、日本ではまだLGBTへの理解は低い。そこで自分たちの手で理解を広めていき、個々のセクシュアリティのあり方を受け入れられる社会を目指していきたいと思い、このプロジェクトを立ち上げた。

Current Situation and Problems —現状・問題点—

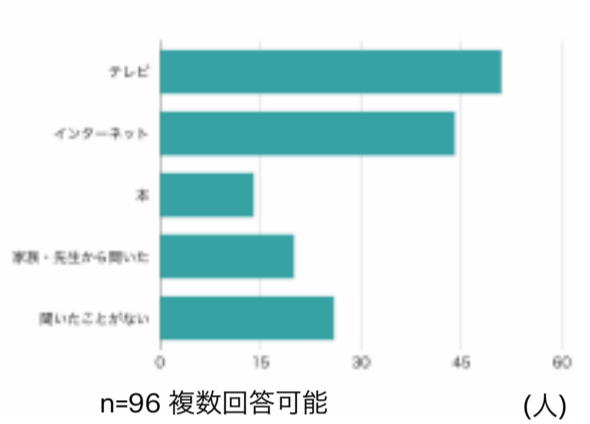
右図は中学3年生を対象に実施したアンケートの結果である。

「LGBTについてどこで聞いたことがあるか」という質問に対し、多くの生徒がテレビ・インターネットと答え、「聞いたことない」と答えた生徒は全体の0.3%にも満たなかった。しかし、「LGBTは自分に関わることだと思うか」という質問に対し50%の生徒が「関わりのないことだと思う」と回答している。つまり、LGBTという言葉自体は聞いたことがあっても、他人事として捉えているということだ。実際にLGBTの方は日本に10人に1人いると言われている。また、自分たちもセクシュアリティを持っている。そう考えると決して他人事ではない。

《LGBTは自分に関わりのあることだと思うか》

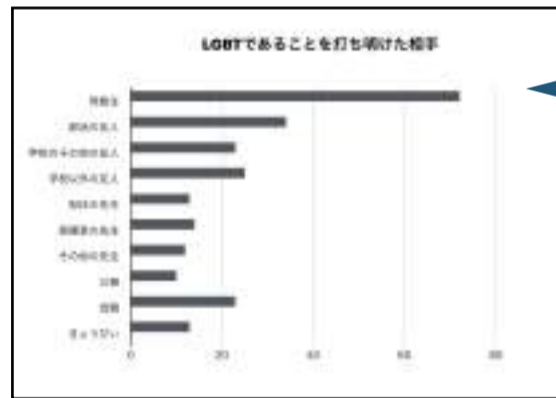


《LGBTについてどこで聞いたことがあるか》



Before We Took Actions.. —インタビュー・オンラインイベントへの参加—

活動を行なっていく上で、実際にLGBTの方のお話を聞きたいと思い、Rebit(LGBTを支援している法人)のオンラインイベントに参加した。その後、牧師や教師としても活動されている中村吉基さんにお話を伺った。「アライ(LGBTの支援者)がいるからこそ社会を変えていくことが出来る」「人の考えを変えるのは決して簡単ではないが、今後LGBTがより受け入れられる時代になっていると信じている」とおっしゃっていたことを元に、セミナーを実施した。



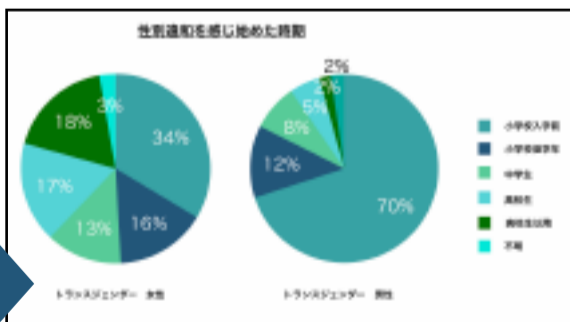
LGBTであることをカミングアウトする相手は、同級生や部活の仲間であることが多い



中村 吉基さん
なかむら よしき

↑資料1(参考:Rebitさんのオンラインイベント資料)

トランスジェンダーのいずれも最頻値は小学校入学前。同性愛や両性愛の子どもは、思春期に気づく場合が多い。



↑資料2(参考:Rebitさんのオンラインイベント資料)

↑実際のインタビューの様子

What Actions did We Take? —活動内容—



中学生を対象としたセミナー



先生方からの寄付金集め



レインボーフラッグをモチーフとしたグッズの製作

寄付

資金集め
寄付を通じて
LGBTの啓蒙

セミナー

アライを広める
学生のうちからLGBT
に関して正しい知識
を広める

グッズ

アライの可視化
LGBTの啓蒙
相談しやすい環境の形成

❖ セミナー ❖

対象は中学3年生とした。その理由は、LGBTを自覚し始めるのが小学校高学年～中学生ごろだと言われているからである。また、カミングアウトする相手も友達や部活の仲間であることが多く、大人の介入しない場面で行われている。そういったことから、高校生の私たちがセミナーをすることがより効果的だと考えた。(前ページBefore We Took Actions参照)

人との違いは1つの個性であり素敵

個性を尊重することが大切

LGBTの方々と一緒に生きていこうと考える

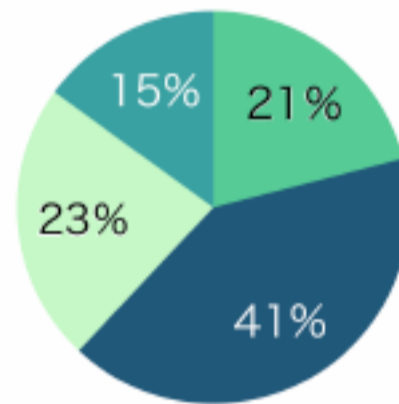
以上の事柄を中心にクイズや話し合いを含めながら行った。



実際のセミナーの様子

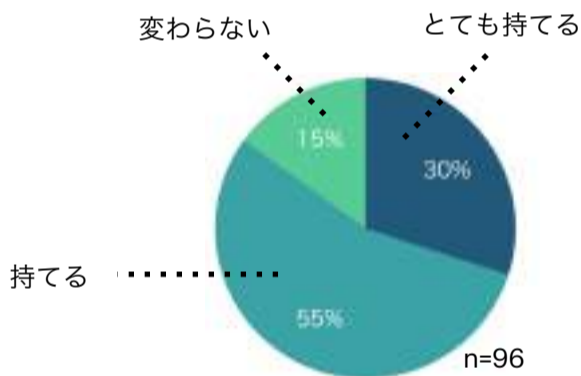
ーセミナーによって得られた効果ー

《LGBTは自分に関わりのあることだと思うか》



LGBTは自分に関わりのないことだと思っていた生徒の多くが、身近に感じられるようになったことが読み取れる。

《セミナー前と比べてどの程度関心を持つようになったか》



「セミナー前と比べてどの程度関心を持てるようになったか」という質問に対し、30%の生徒が「とても持てる」55%の生徒が「持てる」と回答した。

ICTを利用した話し合いなども取り入れた



❖ 資金集め ❖



グッズの作成費用を含む、私たちの活動費は先生方の寄付金によるものである。寄付金を募った目的は

グッズの製作費を集める

寄付を通じ、私たちの活動を周知させる

より多くの先生方にLGBTについて興味をもってもらう

主に上記の3つである。

この活動の目的や計画をプレゼンして寄付金を募った

合計 **24,868円** 集まった。

レインボーフラッグをモチーフとしたペン、ステッカー、キーホルダーを作成した。レインボーフラッグとは、LGBTの象徴であり Siriusのロゴマークにも使用されている。また、「アライ」とは自分はLGBTではないがLGBTを支援する人たちのことを指す。「アライは第3者が見た目で判断することができない」という問題点から、「アライの可視化が必要だ」と考えグッズを作成した。アンケートで市場調査をし、その結果を元にペン・キーホルダー・ステッカーの製作を決定した。実際に購入者の意見を取り入れることによって、より需要が高まり関心を引けると考えたからだ。グッズは全て私たちがデザインした。

❖ グッズの作成 ❖



キーホルダー
¥100



ステッカー
¥60 ¥80



ペン
¥220

セット(上記の商品全て)として¥410でも販売

一売り上げ

カッコ内は個数

売り上げ	セット	7,380 (18)
	ボールペン	5,280 (24)
	キーホルダー	600 (6)
	ステッカー(大)	80 (1)
	ステッカー(小)	540 (9)
	小計	13,880
製作費	ボールペン	7,632 (42)
	キーホルダー	1,440 (24)
	ステッカー(大)	1,178 (19)
	ステッカー(小)	1,350 (27)
	小計	11,600
利益		2,280

セットとして安く売ること、全商品購入した人の割合が多かった。宣伝効果を高めるため、**各クラスにポスターの掲示、販売開始時に校内放送**で呼びかけた。販売会は3日間実施し、オンラインでの販売も受け付けた。

中学生が購入しやすい価格設定にするために、製造原価の高いボールペンは売値をほとんど製造原価と同等の売価とした。自分たちで製作して製造原価の低いキーホルダーについては、プロジェクトの活動費用を捻出できる売価とした。そのため、利幅の大きいキーホルダーをセットとして売ることによって、単品で売るよりも売り上げを伸ばすことができた。



↑実際に配布したポスター

Our Next Challenge —今後の活動—

地域の小中学校でセミナー、グッズのインターネット販売など活動の幅を広げる

クラウドファンディングで寄付を募りグッズを製作することで、より多くの方々にLGBTを啓蒙する

今回の収益と寄付金の一部をLGBTについて活動されている法人(Rebitさん)に寄付する

Connection with SDGs

—SDGsとの関連性—

4 質の高い教育をみんなに



LGBTなどの性的マイノリティを教育に取り込み、より多くの人に正しい知識を知ってもらうことで、より質の高い教育が受けられるようにする。

5 ジェンダー平等を実現しよう



SDGsには「ジェンダー」しか記載されておらず、LGBTについては書かれていない。私たちはLGBTを含む全ての人の平等を実現したい。性別による格差と「普通ではない」という先入観だけの奇異な目を無くしていく。

10 人や国の不平等をなくそう



今後さらに人々の多様性が受け入れられるためにも、人の不平等をなくし、それに関するいじめや差別などがなくなるようにする。

Societal Impact —社会的インパクト—



私たちの活動が保健だよりに掲載された。先生方向けの講座を開く予定だそう。

私たちの活動を知り、現代社会の授業でもLGBTについて取り上げられ。授業は生徒に対しての影響力が大きいと言える。



中学3年生の購入者が目立った。セミナーを行ったことで、考えの変化した生徒が多いと考えられる。



Why is it Sustainable?

—持続可能な理由—

セミナーを通じて新たな知識を得た人やLGBTについて興味を持った人が、今後家族や友達に広めていくことで「正しい知識」を伝えられる。

クラウドファンディングを利用することで、グッズの製作・販売が継続される。また、購入者が使い続けることでアライが可視化され、「相談しやすい環境」が維持される。

セミナーをフォーマット化し、他校の先生方や生徒でも同じように行えるようにすることでより広範囲の人へセミナーを展開することが出来る。

About US

授業内でLGBTについて学んだことが発端となり、私たちSiriusが結成された。男女混合のグループということもあり、4人それぞれ個性豊かな意見を出し合いながら活動出来た。今後も、SDGsに関わる活動を継続していきたい。